

新しいクラスがスタートして、あっという間に一学期が終わりました。

年中クラスの子ども達も幼稚園に慣れ、楽しそうに登園、学習している姿が見られます。

年長クラスは、前年度でグループ意識が芽生え、集団活動がより活発になり、クラスの中では知っている日本語を発表しながら楽しそうに学習しています。

一学期には子どもの日・母の日・虫歯予防デー・時計の日・焼き芋・七夕の行事を楽しみました。

製作をする中で、年中・年長ともに、先生の指示を聞き行動に移す・友達を待つ事がすこしずつ出来るようになって来ています。折り紙を折る・ハサミを使う・のりを使うことを、小さい手で一生懸命取り組み、お迎えの時に、出来た物を誇らしげに見せる笑顔はとても素敵でした。

休み中の宿題は、せっかく学習したことを忘れてしまわない事、次のステップにスムーズに移行できるように出されています。毎日少しずつ繰り返し練習する事が大切です。もっとできる人はコピーをしてどれだけ速く、綺麗にできるかに挑戦しましょう。

一番大切なのは、日本語だけで話をする時間です。できるだけたくさん日本語を話す時間を作りましょう。風邪が流行っています。お休み中は手洗いやうがいをご心がけ元気にお過ごしください。

スローガン **ともだちいっぱい にほんごいっぱい**

幼稚園の目標

- 園生活を楽しみ、色々な経験をする中で、基本的な生活習慣や態度を身につける。
- 日本語の集団に馴染み、日本語で友達と遊ぶ楽しさを味わう。
- 日本語を読んだり書いたりする面白さに触れ、日本語学習の意欲を持つ。

2学期の予定

- 7月29日 始業式
- 8月29日 保護者座談会
(ホールで9時50分から)
- 9月09日 敬老の日
- 9月30日 終業式・お月見

| 時間割 | |
|-------------|---------------|
| 1時間目 | 9時45分～10時30分 |
| 休み時間 | 10時30分～10時45分 |
| 2時間目 | 10時45分～11時25分 |
| 集会 | 11時25分～11時35分 |
| ※毎週、ホールにて降園 | |

幼稚園の約束

- ① 始業時間9時45分に授業が始められるよう余裕をもって登園しましょう。
- ② 欠席は、必ず担任か事務所に知らせてください。(子ども達の安全確認の為)
- ③ 校門をくぐったら、日本語を話しましょう。
(保護者の気持ちの切り替えが一番大切です。)
- ④ 宿題は必ずやりましょう。宿題は授業の復習・発展です。
毎日少しずつ続けると学習習慣が身につき今後の学習に役立ちます。

学習連絡 年長

サインペンや鉛筆の太さのクレヨンを使い 字を書く練習を始めました。

* 姿勢よく座る、紙をおさえる、「とめ」「はね」「はらい」に気を付けるよう指導しました。

特に上手にかけた文字には花丸をあげています。花丸をもらうために、見本をみて丁寧にゆっくり書く子や紙いっぱいにとくさん書く子など個性あふれるそれぞれの方法で、みんな一生懸命にひらがなの書き学習をしています。ご家庭でも、お父さん花丸やお母さん花丸を活躍させて大いにほめてあげてください。

年長クラスの最終目標の一つに、「自分の事は自分でする」があります。2学期から自分の物(鞆や洋服)は自分で管理し、ノートやファイル出しは子どもが自分でやるように仕向けてください。最初は出来なくて当然です。見ているとつい手を出したくなるので、教室に入ったら先生やヘルプの方に任せて帰るのが一番の近道かもしれませんね。

*休み中の学習

①「ふゆやすみのおたのしみちょう」をおうちの人と一緒にやりましょう。

②「ひらがなカード並べ」あ行からわ行まで持ち帰ります。

・一度に全部バラさないで、行ごとに上から下に読みながら並べる練習をしましょう。

③歌を楽しむ

授業で歌った歌を何度も車の中や、散歩中・料理をしながら歌ってあげてください。

お母さんが何度も歌ってくれることで大好きな歌になるでしょう

学習連絡 年中

幼稚園のルールを守って元気に登園しています。一学期はひらがな 50 音を大きな口をあけて元気よく言えるように練習しました。週を追うごとに自信を持って言える姿が見られます。ご家庭での練習の成果が伺えます。

*休み中の学習

①「たのしい、ふゆやすみ」をおうちの人と一緒にやりましょう。

②絵本をたくさん読みましょう。

同じ絵本を覚えるくらいに何度も読んであげてください。

覚えた絵本は自分で文字を追って読んでいく第一歩になります。

③一学期に学習したことを、ノートを見ながら復習しましょう。

折り紙の折り方・ハサミの使い方・のりの使い方等 もう一度やってみてください。

④歌を楽しむ

授業で歌った歌を車の中や、散歩中・料理をしながら 何度も歌ってあげてください。

お母さんが何度も歌ってくれることで大好きな歌になるでしょう。